＜様式１＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　② 福祉施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名	掛川市ききょう荘	担当課名	長寿推進課	担当係	高齢者政策係
区　分	内　容　・説　明				
1 施設及び指定管理者の状況 (1) 設置条例名	掛川市ききょう荘条例				
(2) 施設設置目的	65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を入所させ養護するとともに、その者が自立した日常生活を営むことができるよう援助を行うことを目的とする。				
(3) 施設が有する設備・機能の概要	鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,304.25㎡ 事務室、会議室、医務室、宿直室、休憩室、厨房、食堂、居室等				
(4) 施設建設年度	昭和55年				
(5) 耐震性能	あり　（耐震性能）　Ⅰａ				
(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）					
(7) 指定管理者名	社会福祉法人　掛川社会福祉事業会				
(8) 指定期間	令和3年　4月1日から　令和8年　3月31日まで				
(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※　設定ありの場合：期間　令和2年度　～　令和7年度　限度額：　630,860千円				
(10)施設の管理運営形態	① 指定管理料のみで運営				
(11)自主事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
(12)その他事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし　※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務				
(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度				

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）	600	600	600	600	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）	345	339	242		
	内訳（施設・設備ごと）		345	339	242		
	(2) 施設稼働率（利用率）		R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	A 平日昼間					
		B 平日夜間					
		C 土日祝昼間					
		D 土日祝夜間					
		A 平日昼間					
		B 平日夜間					
		C 土日祝昼間					
		D 土日祝夜間					
		A 平日昼間					
		B 平日夜間					
		C 土日祝昼間					
		D 土日祝夜間					

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
3 管理運営状況	(1) 指定管理者名						※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		212,710	218,782	288,144		
	(3) 運営日数		366	365	365	365	
	(4) 運営人員	① 正規職員	8.0	6.0	6.0	6.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	7.0	9.0	9.0	8.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、％）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	57,251,360	57,308,427	56,499,148	42,855,000	
	② 印刷費					
	③ 通信費					
	④ 事務用品・旅費・図書費等	712,470	721,357	386,964	560,000	
	⑤ 借上料	2,606,673	3,146,812	2,947,721	1,914,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	327,610	341,090	382,150	285,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	12,486,857	12,649,321	9,514,943	5,956,000	
	小　計	73,384,970	74,167,007	69,730,926	51,570,000	
	対前年度増減率		1.1%	−6.0%	−26.0%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	13,120,030	13,027,410	13,112,440	5,265,000	
		13,120,030	13,027,410	13,112,440	5,265,000	
	② 修繕費	1,835,335	812,975	133,650	100,000	
	③ 光熱水費	7,381,333	6,978,641	6,884,597	4,570,000	
	④ 燃料費	4,559	14,995	3,499	20,000	
	⑤ 清掃費					
	⑥ 保守点検費	2,009,062	2,756,539	2,353,718	1,039,000	
	⑦ その他（施設消耗品等）	1,866,537	2,360,140	2,852,053	3,336,000	
	小　計	26,216,856	25,950,700	25,339,957	14,330,000	
	対前年度増減率		−1.0%	−2.4%	−43.4%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		99,601,826	100,117,707	95,070,883	65,900,000	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		73.7%	74.1%	73.3%	78.3%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		72,366,785	72,577,634	51,463,329		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		98.6%	97.9%	73.8%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	72,366,785	72,577,634	51,463,329	※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料	100,421,139	101,996,030	93,112,676	
収支差額　(a)－(b)	▲ 28,054,354	▲ 29,418,396	▲ 41,649,347	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【 (a)－トータルコスト】				
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）				

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入				
(b) 自主事業の支出				
収支差額　(a)－(b)	0	0	0	
(c) その他事業の収入				
(d) その他事業の支出				
収支差額　(c)－(d)				

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	819,313	1,878,323	−1,958,207	(利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支)－ トータルコスト
対前年度増減率		129.3%	−204.3%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　生活の基本的なサービス	80.0%	89.8%	3	
B　生活場面ごとのサービス	80.0%	100.0%	3	
C　不満や要望への対応	80.0%	86.7%	3	
D　利用内容の理解・納得	80.0%	93.8%	3	
E　総合的な感想	80.0%	93.8%	3	
F　施設の利用者数	50人／月	20人	0	入所者数は減少しているが、誰でも入所できる施設ではない。福祉課や地域包括支援センターと制度に関する情報共有に努め、措置が必要な高齢者の把握や措置を確実に行っていく。

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	0	入所者数は減少しているが、誰でも入所できる施設ではない。福祉課や地域包括支援センターと制度に関する情報共有に努め、措置が必要な高齢者の把握や措置を確実に行っていく。
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	建物の老朽化が目立つようになっている。 簡易な修繕は施設管理者が随時行い、対応が難しいものについては、担当課と協議の上、修繕を実施する。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	養護老人ホームは、低所得で生活支援が必要な高齢者を受け入れる福祉施設であり、利用料収入だけでは採算を取りにくいため、民間だけでの運営は困難である。さらに、公平な入所調整や安定した支援を行う必要があるため、行政の関与が不可欠である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	入所者が安心して生活できるよう、施設の維持管理及び事業運営に適切に取り組んでいる。一方で、利用者数は要求水準に達しておらず、収支差額も赤字となっているため、今後は利用促進と収支改善に向けた取組が求められる。なお、指定管理者としては概ね問題なく適当である。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

24 ／ 33

Ⅴ その他自由意見